



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

子どもの笑顔が
あふれるまち
かわさき



令和7年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

12月13日(土) 情報モラル教育の基本的な知識や指導の大切さ、かわさきGIGAスクール構想に関する講義、GIGA 端末を使った活動を通じた授業づくりに関する演習や交流が行われました。

令和7年12月13日(土) 日程

- 10:05 様々な立場からの情報モラル
- 11:10 かわさきGIGAスクール構想
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 12:30~12:50 「教員採用試験個別相談会」
- 13:00 GIGA端末を効果的に活用した授業づくりの実際(グループ協議)
- 14:45 振り返り・事務連絡 15:00 終了

子ども1人1人が主語になる授業



自分事として考える場面の設定を!



ICTの使い方、子どもの学びは良いものにも悪いものにもなる。自分も相手も傷つけない判断力等を身に付けること、大人がそれをサポートする視点の大切さに気付いた。



端末の利用が増え、SNSトラブルは避けられない課題だと実感した。日頃の授業の中で子どもたちが自分事として情報モラルを考えるような指導の重要性を学んだ。



なぜ一人一台の端末が子どもに配られているのか改めて深く考えるきっかけとなった。学校には多様な子どもがおり、適切に活用することで「誰一人取り残すことのない」より良い学びへと繋げることができると思った。

端末を使うことで、子どもの学習の過程や成果を可視化できる良さを感じた。伴走者として子どもの多様な学習を支えていきたい。



生成AIによる児童への指導の在り方も変化しつつあると思う。日々更新される情報について学び続けたい。



教師と児童と一緒に目標を決め、児童が主体的にゴールを超える姿勢が大切なことを実感しました。

情報モラル教育の進め方

①「日常的なモラル」の育成と「インターネットの特徴」の理解

日常的なモラル + インターネットの特徴の理解

②よりよい使い方を自分たちで考えさせる

①をもとに「なぜ、どうして(原因分析)」、「よりよい使い方(判断力)」を身につけさせる



席が離れた人の意見をすぐに共有でき、加筆修正が簡単なことを実感した。同時に端末を使うことが目的にならないよう注意したい。



かわさきGIGAスクール構想について

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

個別最適な学び
ICTを活用し、一人ひとりの理解度や興味・関心に応じて学習内容や進捗を調整します。つまり、さまざまな早期対応や、得意分野の伸長を可能にします。

協働的な学び
クラウド上での意見共有や共同編集を通じて、他者の考えに触れ、議論を深めます。空間的な制約を超えた多様な人との交流も実現します。

これらを一体的に充実させ、「誰一人取り残すことのない」教育を実現します。



実習1「端末で仲間とつながる」

まず、実習1では考えをアウトプットをしてみましょう。

【手順】

- 「リンゴ」「バナナ」を比べたことをスライドに書いてみましょう。
- 入力完了した方は、他の参加者の意見を閲覧して、自身の考えをさらに深めて(入力して)ください。



端末を活用することで仲間と高め合うことができたり、自分らしい学習を見つかることができたりすることに気付くことができました。



実際に端末を使用した研修で、とても楽しく学びがかった。子どもの学びを広げるため一日でも早く端末を使いこなせるようになりたい。



私も様々な活動や学習ができるICT環境で学びたかった。

令和8年2月14日(土) 17時~19時、かわさき宙と緑の科学館にて、「教員志望者向け説明会」(Web サイトからの事前予約制)が開催されます。



休休みに4回目の「教員採用試験個別相談会」が行われました。令和8年1・2月には教員を志望・検討している方向けに、川崎市教育委員会による川崎市学校見学会(授業参観・現職教員との懇話会)が開催されます。

